

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

東の風



平戸市立田平東小学校
学校便り

やさしく
かしこく
たくましく

No.92

平成29年3月15日(水)

文責：園田

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

『 努力は たし算、協力は かけ算 』

この言葉、皆様も何かで目にしたり、どこかで聞いたことがある方もいらっしゃるかもしれません。私も昔、何かで知ったのですが、確かスポーツでのチームワークに関するお話の中の言葉だったように思います。

間もなく卒業していく6名の6年生。この6年間、それぞれに「努力」を重ねて成長し、更には様々な場面で「協力」し合いながら小学校生活を過ごしてきたはず。学校で最近の6年生を見ながらそんなことを思っていると、この言葉「努力はたし算、協力はかけ算」を思い出し、引用させてもらうことにしました。

6年生の皆さんへ

6名の6年生の皆さん、小学校での生活が間もなく終わろうとしています。今、どんな心境でしょうか？ 一人一人、これまで、たくさんの努力をしてきたはず。努力とは、一つ一つ積み重ねていくものです。積んだ分は消えることはなく、必ず積み重なっていきます。



自分の努力は決して裏切らず、一つ一つ着実に「たし算」のように積み重なります。

だから算数に例えれば、『努力はたし算』。もし毎日何かを2ずつ、3日頑張れば $2+2+2=6$ になります。一人が2ずつ頑張れば、6年生6人で合わせて12になります。積み重なり力となります。

では協力はどうでしょうか？ 人と人が関わり合って協力し合うと、一人で頑張るよりいい効果が得られます。お互いの力が関係し合い響き合って、より大きな力になることを「相乗効果」と言います。



だから「協力」は、たし算というよりも「かけ算」と言えます。

例えば6年生6人が2ずつ頑張れば、 $2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2 = 64$ 。

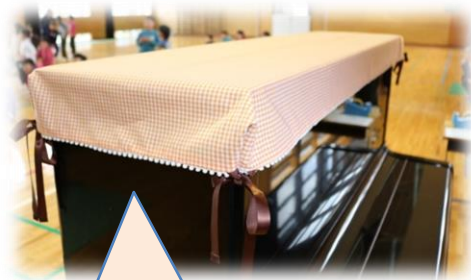
みんなが協力すれば、相乗効果で個人のたし算では得られないような大きな大きな力になるということです。

でも一人でも協力しない人がいると0をかけることになり、 $2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 0 = 0$ で無になってしまう。

6年生の6人。当然それぞれ個性が違います。違う個性の一人ひとりが、たし算である「努力」をしてきたはず。そして田平東小学校のリーダーとしてかけ算のように6人が協力し合い大きな力を発揮してくれました。

4月からは中学生です。同級生も学校全体の人数も今よりもっと増えます。これまで以上に、まず自分が「努力する」というたし算を積み重ねましょう。そして、一人一人が、かけ算のように新しいクラスの仲間や先輩達、先生方と協力し、力を合わせて大きな力を発揮できるよう頑張ってもらいたいと思います。まぶしいばかりに輝く姿を期待して応援しています。

6年生、ありがとう。大切に使いますね。



布製のピアノカバーです。表裏両方使えるように色柄違いのリバーシブルになっています。とてもかわいくできています。(松永さん、山添さん作)



各学年の花壇用木製の学年表示札です。学校にあった不要な材木を利用して作ってあります。(赤木さん、田島さん作)



以前からあった木製台座をニスを塗るなどしてきれいに修繕し、更に、守ってほしい東っ子の決まりをPCで作って掲示しています。(川原さん、濱崎さん作)

学校便り第79号でもご紹介していた卒業に向けた6年生の活動。その中の卒業記念の製作物ができあがり、学校へプレゼントしてくれました。写真の3種類です。6年生を思い出しながら、みんなで大切に使います。